

授業科目

臨床実習II (評価)

担当教員名 古西 勇、齊藤 慧、小島 翔	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	4	時間数	180

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

臨床実習の一般目標の核心部分は、臨床において理学療法の対象となる方との適切な接し方を身につけることである。その上で、その方のために、自分自身が持つ知識や技術、人間性、責任感、連携能力を最大限に役立て、理学療法を実践し、省察を通して向上心が高めることが求められる。臨床実習II (評価実習) では、模擬患者を対象とした基本的な検査・測定の実践の後に、臨床現場において実際の対象者にご協力いただき、臨床実習指導者の指導の下で、検査・測定と評価を実践する。

授業の目的

1. 理学療法実施に際し、倫理的、法的小および専門職の観点に立った責任感を形成する。
2. 学内で学んだ知識と技術の統合をはかり、臨床における理学療法の実施に必要な資質および技術を習得する。
3. 理学療法の対象疾患や障害にかかわる患者様・利用者の方に対する一般的な理学療法業務を学ぶ。
4. 病院・施設と理学療法部門の組織や機構の相互関係を学ぶ。
5. 関連する医療業務の役割と理学療法との相互関係を学ぶ。
6. 専門職における研究に対する価値について知識を高める。

学習目標

1. 対象者との接遇とコミュニケーションが適切に行える
2. 臨床における理学療法とその対象者について幅広く説明できる
3. 基本的な検査・測定が模擬患者および実際の対象者として適切に行える
4. 日々の検査・測定の結果を適切に記録できる
5. 必要な情報収集を行い、検査・測定結果とあわせて解釈し、問題点・目標・治療プログラムを立案できる
6. 臨床における安全管理を臨床実習指導者の監視下において実践できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-4	オリエンテーション、リハビリテーションにおけるリスク管理の講義および小テスト	学生実習要綱、評価OSCEに向けての学習の手引き、『リハビリテーションリスク管理ハンドブック』を使用。	古西 勇 他
5	症例報告書作成の講義	一般的な症例報告書作成の仕方を学ぶ。	齊藤 慧
6-10	評価OSCE	地域在住のボランティア10数名の協力を得て、模擬患者を対象とした評価の課題を学内で実施。	古西 勇 他
11-12	評価OSCEの振り返り指導	評価OSCEの振り返りを行う。	古西 勇 他
13-15	グループでの患者の評価と症例報告書の作成	患者会ボランティア10数名の協力を得て、実際の患者を対象とした評価を、グループで協力して、学内で実施。その結果から症例報告書を作成。	古西 勇 他
16-40	医療機関等での実習 (第1週)	配属先 (1施設に1~数名が配属) の臨床実習指導者の指導の下に行う。必要に応じ、実習担当教員が訪問や電話連絡をする。初日はオリエンテーション、他部門への紹介、担当患者への挨拶、情報収集、2日目以降は担当患者の評価や他の患者の治療の見学、情報収集、評価のまとめを行う。	
41-65	医療機関等での実習 (第2週)	臨床実習指導者の指導の下に行う。実習担当教員が進み具合を確認する。2週目には、評価のまとめを終え、症例報告書と発表用資料を作成する。	
66-90	医療機関等での実習 (第3週)	臨床実習指導者の指導の下に行う。実習担当教員が学生評価について確認する。3週目には、症例報告書を完成させ、施設での発表を行い、他の患者の治療の見学を行う。	
91-100	実習後セミナー	同じ期に実習に行った学生の間で、各自の症例報告を発表する実習後セミナーを行う。他の学生の発表を聴くことで、多様な患者に対する評価の考え方と実践について学ぶ。	古西 勇 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他

教科書	リハビリテーション リスク管理ハンドブック 改訂第2版	亀田メディカルセンター リハビリテーション科リハビリテーション室	株式会社メジカルビュー社	2012年	4,200円 + 税	
参考書						
その他の資料	学生実習要綱					オリエンテーションにて配布する
	評価OSCEに向けての学習の手引き					オリエンテーションにて配布する

評価方法

小テスト合格 (≧ 約80%)、評価OSCE合格を医療機関等での実習に出る前提条件とする。臨床現場における臨床実習を所定の要件を満たして終了し、実習後の提出物 (ポートフォリオを含む) と臨床実習指導者による学生評価を受付の期限内に提出した学生を評価対象とする。学生評価 (可, 70点; 不可, 0点)、実習後セミナーへの参加と発表内容・態度の評価 (-20点~20点) および提出物の評価 (0~10点) の合計により判定する。

履修上の留意点

実習に出る前のオリエンテーション・講義・評価OSCEに必ず出席すること。臨床実習期間中は、臨床実習指導者の指示に従うこと。詳細はオリエンテーションにて説明する。

オフィスアワー・連絡先

pt-jissy@nuhw.ac.jp (実習担当教員の共有アドレス)